

Winスクールで目指せる プログラミング・ネットワークの資格

資格を取得する4つのメリット

1 客観的なスキルの証明

未経験で異業種からの転職や文系の学生が IT 分野の業界を目指す場合、経験をアピールすることが難しいですが、資格を取得することで一定レベルの技術や知識を証明できます。

2 就職・転職が有利に

応募条件に資格取得が必須なところも多数あります。また、応募条件に書かれていなくても努力して資格を取得したことは採用担当者に対して高評価となります。

3 技術力・知識力の底上げ

資格は決められた時間内に多くの問題を解くものが大半、また正確な知識が技術を求められるものです。資格に対する学習は、今の技術力や知識を大幅に底上げする効果が得られます。

4 今の仕事でも有利に

取得資格によって資格手当が出たり、昇進が優遇される企業もあります。また、技術や知識の底上げにより、業務効率化や精度の高い仕事ができる社内評価を高めることにつながります。

国家資格 基本情報技術者試験

▶ 講座案内 P.1

経済産業省所管の独立行政法人「IPA（情報処理推進機構）」主催の国家資格の中の区分の一つです。主にプログラマー・システムエンジニアといった職

業を目指す方を対象に、IT 関連の知識や、情報処理に必要な論理的な思考を問う試験です。

主催：IPA（情報処理推進機構）

試験日	4月・10月の第3日曜日
試験時間	午前・午後ともに150分
出題数	午前80問、午後13問

ベンダー資格 Java 認定資格(OCJ-P)

▶ 講座案内 P.1

OCJ-Pはプログラミングの基本的な知識から、Javaの文法やシステム開発に関する全般的な知識、基本的なライブラリを使用したプログラミング能力

など、Javaに関する総合的な知識やスキルを有していることを認定する世界共通の資格です。

主催：Oracle（オラクル）

試験日	随時開催（ピアソンVUE）
試験時間	150分
出題数	77問（選択問題）

ベンダー資格 ETEC（組込み技術者試験制度）

▶ 講座案内 P.9

組込みシステムの開発能力を証明する「ETEC（組込み技術者試験制度）クラス2」の取得を目指す対策講座です。合否判定はなく、800点満点の問題から取得点数ごとにA～Cのグレード

を設け、客観的な技術力を評価します。クラス2で500点以上のスコアを取得することでクラス1の受験資格を得ることができます。

主催：組込みシステム技術協会（JASA）

試験日	随時開催（ピアソンVUE）
試験時間	90分
出題数	120問（グレード式）

ベンダー資格 CCNA（シスコ技術者認定）

▶ 講座案内 P.11

シスコシステムズ社が認定するネットワーク技術者のための最も有名な資格です。同社製のネットワーク機器を使い、ネットワークに関連する知識やネットワークを自ら構築・運用するた

めの実践的なスキルまでを証明する資格であるため、ネットワーク技術者として仕事をするためには必須の資格と言えます。

主催：Cisco Systems（シスコシステムズ）

試験番号	200-301
試験時間	120分
出題数	CBT（コンピュータ入力）方式

ベンダー資格 LPIC（Linux 技術者認定試験）

▶ 講座案内 P.11

国際的組織LPIが実施するLinux技術者向けの資格が「LPIC」です。Linux OSに関する知識からコマンド操作、サーバー構築・管理等の技術力

を証明します。試験は3段階のレベルに分かれており、どのレベルに合格するためにも、それぞれ2科目の試験の合格が必要です。

主催：Linux Professional Institute (LPI)

試験番号	101・102・201・202
試験時間	各90分
出題数	各60問程度

